

2022年度 事業報告書

2022年10月1日から 2023年9月30日まで

特定非営利活動法人マドレボニータ

1 事業の成果

①教室事業

- ・オンラインと対面両方で産前・産後ケア教室を開催し、コロナ禍でも産前産後ケアプログラムを継続的に提供した。
- ・対面教室の本格的な再開に伴い、産後ケアバトン制度（多胎児の母やひとり親などへの受講料補助、介助ボランティアによるサポートなど）にて、22組を受け入れた。
- ・夫婦で参加できるオンライン講座形式の両親学級の普及に努め、41組78名（単身参加者含む）が参加した。
- ・企業向け復職支援プログラムを改良し、3社に提供。173名が参加した。
- ・インストラクター、スタッフで団体合宿を実施し、産後ケアプログラムのブラッシュアップやチームビルディングを行った。

②養成事業

- ・昨年度開講した全てオンラインで学べる養成スクールを今年度も開催した。
- ・2022年9-12月、2023年1-3月に開講したアドバイザー養成スクールでは「産後セルフケアアドバイザー」18名が誕生した。
- ・2023年5月に「産後セルフケアインストラクター」コースを開講し1名を迎え入れたが、実技試験で基準に達しなかったため、協議の末にコース中止を決定した。

③研究開発事業

- ・コロナ禍において実施した産後の体とパートナーシップに関する調査研究をまとめた「産後白書4」を冊子として印刷し、全国の自治体に配布し協働を推進する活動を行うためのクラウドファンディングを経て、2,400自治体に産後白書4,000冊を配布した。
- ・上記の提案の結果、自治体の母親学級や両親学級で産後白書4の紹介・配布を9自治体が希望し、188冊とチラシ100枚を提供した。
- ・クラウドファンディング支援者や一般に向け、オンラインで自治体向け協働推進活動の成果報告会を実施した。
- ・会員と協力して過去に発行した産後ケアの啓発・普及の考察レポート「マドレジャーナル」を用い、インストラクターによるマドレジャーナル読書会を実施して教室プログラムの知見をわかち合い考察を深めた。
- ・教室卒業生や希望者向けに毎月1回メールマガジンを発行した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
産前・産後のボディケア&フィットネス教室事業	・対面とオンラインによる産後ケア教室、オンライン両親学級、各種教室の実施 ・多胎児の母やひとり親等の受講料を補助する産後ケアバトン制度の推進 ・自治体での講座開催(鎌倉)	2022年10月～2023年9月	全国	56人	妊娠中～産後の女性及び家族、一般市民1,058人	5,612

	市、北見市、横浜市、宇都宮市) ・企業での復職支援プログラムの推進 ・企業向け産前講座オンライン講座の販売					
産前・産後セルフケアインストラクター養成事業	・養成スクール開催 ・産後セルフケアアドバイザー18名誕生 ・オンライン講座の販売 ・支援者向け単発講座実施 ・認定インストラクター制度整備、研修の実施	2022年10月～2023年9月	各受講者の居住地	31人	一般市民、産後セルフケアアドバイザー45人	1,222
産前・産後のボディケア&フィットネスプログラム研究開発事業	・コロナ禍における妊産婦の心身の健康状態とパートナーシップ調査研究をまとめた「産後白書4」を紙の冊子として発行 ・産後白書4を全国2,400自治体に送付 ・マドレジャーナル読書会実施 ・産後ケアリーフレット配布 ・月刊メールマガジン発行	2022年10月～2023年9月	全国	41人	一般市民、自治体、病院、子育て支援施設等 23,915人	1,826

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
なし	なし	—	—	—	—